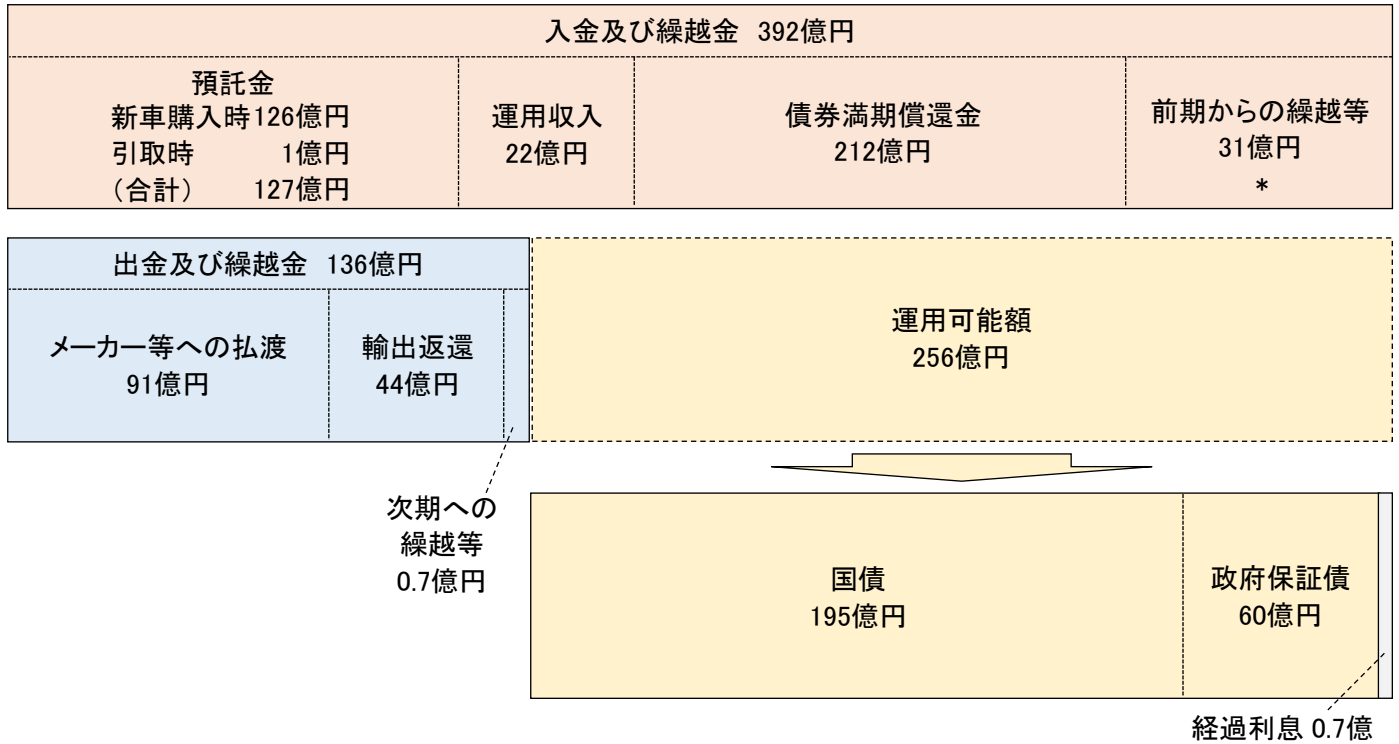


2017年度第3四半期(2017年10月～2017年12月)再資源化預託金等の運用実績

1. 2017年度第3四半期の入出金及び運用可能額



* 前期からの繰越等31億円は、2017年度第3四半期の初めに債券を購入するために繰り越した額等である。

2. 2017年度第3四半期の再資源化預託金等の債券運用実績

自動車の平均使用年数(約15年)を考慮した各年限の必要残高に応じたラダー型資産構成を構築するため、256億円を年限10年の債券取得に充てた。

	2017年度				合計
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
運用可能額	295億円	232億円	256億円		782億円
債券取得額	294億円	232億円	255億円		781億円
国債	219億円	157億円	195億円		571億円
政府保証債	75億円	75億円	60億円		210億円
次期繰越額等	0.5億円	0.1億円	0.7億円		

3. 2017年度第3四半期末におけるラダー型資産構成実績

最近の自動車平均使用年数の伸長を考慮し、2016年度より期間10年のラダー型運用から15年のラダー型運用に変更した。これに伴い、各年限の必要残高を額面600億円程度に変更。現在、当該ラダー型資産構成は構築の途上にある。

年限 (年度末基準)	1未満	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	合計
償還年度	'17	'18	'19	'20	'21	'22	'23	'24	'25	'26	'27	'28	'29	'30	'31	'32	'33	'34	
額面残高 (億円)	216	892	891	890	890	891	895	884	783	600	600	283	9	150	-	100	-	14	8,988

各年限の取得額の上限を600億円程度とするラダー型資産構成の構築を目指す

※ 詳細は第79回(2018年2月28日開催)の資金管理業務諮問委員会資料をご参照ください。